

安全安心な魚市場への取り組み

松浦魚市場の特徴は、市場内で使用する海水は全て殺菌された清浄な海水を使用していることです。これは、生産地市場から消費者の皆さんに安全・安心な商品を提供することを目的としています。平成11年にはHACCP対策検討委員会を設置し、平成13年には紫外線殺菌海水装置を整備しました。

また、平成15年には生産地市場としては日本初となる屋内式立替出荷施設「おさかなドーム」を建設しました。

●おさかなドームの特徴

- ・ 場内温度を20度前後に設定することで鮮度を保つことができます。
- ・ HACCPの考えを取り入れた高度衛生化施設です。
- ・ 衛生区画の設定、物流動線を明確化し、ワンウェイ方式とすることで作業の効率化を図っています。
- ・ 場内を密閉した空間とする：前室など2重扉を採用することで、外気温を遮断しています。
- ・ 場内無柱による空間をつくることにより衝突などの事故を防ぎ、作業効率を上げています。



・ 屋根材に膜を採用し照明代を削減しています。

・ オゾン殺菌海水を利用することで鮮度保持、安心・安全効果を高めています。

※HACCP（ハサツプ）

Hazard Analysis Critical Control Point
工業製品の品質管理の手法を応用し、生産から消費に至る工程で発生するあらゆる危険を予測し、安全性を確保するための重要な管理点を定めて監視する食品管理方式。

松浦魚市場開設30周年



昭和54年の開設から30周年にあたる本年11月7日、文化会館で「松浦魚市場開設30周年記念式典」が開催されました。

式典には松浦魚市場関係者など約300人が出席。開設者である友広市長と西日本魚市城島正彦社長から式辞が述べられた後、これまで松浦魚市場運営に協力された団体や個人など98人に感謝状が贈られ、金子知事などが祝辞を述べました。

また、記念講演としてテレビなどでおなじみのヨネスケさんが「隣の晩ごはんに見る家族の絆」と題して講演を行いました。

◎問合せ先 水産商工観光課

魅力ある総合水産基地として更に発展し、安全で安心な水産物を提供できる市場を目指します

松浦魚市場の円滑な運営にあたっては西日本魚市の皆さん、水揚げをされる漁業生産者の皆さん、生産者から消費者をつなぐ買受人の皆さん、市場から食卓までの流通を担っている皆さん、そして何より水揚げされた生産物の商品価値を高めるために、昼夜を問わず選別や立替作業に従事される多くの従業員の皆さんが一体となって取り組まれていることで、松浦魚市場は日本有数の市場として発展し、30周年を迎えることができました。

県においては、沖防波堤の設置、港の浚渫工事、護岸の整備、市場機能の拡充と高度化を目的とした大型浮桟橋を設置するなど、松浦魚市場の成長と発展に寄与していただいています。

水産業界を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、これからも西日本魚市をはじめ関係皆さんと一体となって、松浦魚市場が魅力ある総合水産基地として更に発展し、消費者の皆さんに安全で安心な水産物を提供できる市場として誠心誠意努力していきます。



松浦市地方卸売市場松浦魚市場開設者

松浦市長 友広 郁洋

【松浦魚市場の歴史】

- 昭和 52 年 8 月 日本遠洋旋網漁業協同組合から松浦市へ魚市場開設の要請
- 昭和 52 年 9 月 長崎県、松浦市、日本遠洋旋網漁業協同組合 3 者協議開始
- 昭和 52 年 12 月 松浦市が公設地方卸売市場を開設する方針を決定
- 昭和 53 年 1 月 松浦市から新星鹿漁業協同組合、松浦漁業協同組合、北松魚市株式会社に
対し、開設同意申入れ
- 昭和 53 年 1 月 松浦市議会全員協議会、公設地方卸売市場計画の協議
- 昭和 53 年 1 月 調川地区区長および関係地区へ説明会
- 昭和 53 年 2 月 北松魚市株式会社が市場開設に同意
- 昭和 53 年 6 月 新星鹿漁業協同組合、松浦漁業協同組合が市場開設に同意
- 昭和 53 年 7 月 公設市場開設について、松浦市議会特別委員会と長崎県知事による協議
- 昭和 53 年 10 月 市場開設計画書を長崎県から九州農政局へ提出
- 昭和 54 年 6 月 西日本魚市株式会社設立（卸売人）
- 昭和 54 年 8 月 松浦魚市場第 1 期工事完成（A棟、B棟）
- 昭和 54 年 9 月 開設許可、卸売業務の許可、買受人公募
- 昭和 54 年 10 月 買受人承認
- 昭和 54 年 10 月 市場開設
- 昭和 55 年 5 月 松浦魚市場第 2 期工事完成（C棟）
- 昭和 57 年 3 月 当初の年間水揚量目標 6 万トンを上回る 7 万 2 千トンを達成
- 昭和 58 年 3 月 松浦魚市場第 3 期工事完成（倉庫および買受人事務所）
- 昭和 60 年 3 月 アジの水揚日本一を記録（以後昭和 63 年を除き平成 6 年まで連続日本一）
- 昭和 62 年 11 月 松浦魚市場第 4 期工事完成
（D棟および汚水処理施設、卸売人および買受人事務所）
- 昭和 63 年 3 月 年間水揚量 10 万トン突破
- 平成 元年 3 月 選別作業員詰所や魚体自動選別機、フィッシュポンプなどの施設整備
- 平成 2 年 3 月 サバの水揚日本一を記録
（その後平成 11 年から平成 16 年まで連続日本一を記録）
- 平成 8 年 3 月 年間水揚量は過去最高の 12 万 9 千トンを突破
- 平成 11 年 3 月 松浦魚市場東側に浮棧橋完成（2 基設置）
- 平成 11 年 12 月 第 1 回松浦水産基地 HACCP 対策検討委員会
- 平成 13 年 2 月 産地電子情報ネットワーク化に伴う構築工事完了
- 平成 13 年 9 月 松浦魚市場で初めて紫外線殺菌海水装置を整備
- 平成 15 年 3 月 日本初となる屋内式立替出荷施設、松浦魚市場買荷保管積込施設（おさかなドーム）
が完成
- 平成 16 年 2 月 松浦市水産加工団地完成
- 平成 19 年 3 月 松浦魚市場北側に大型浮棧橋完成（1 基目設置）
- 平成 19 年 8 月 松浦魚市場北側に大型浮棧橋完成（2 基目設置）



調川港（昭和 45 年）



昭和 62 年ごろの松浦魚市場



セリの様子



初セリ（平成 21 年）



おさかなドーム